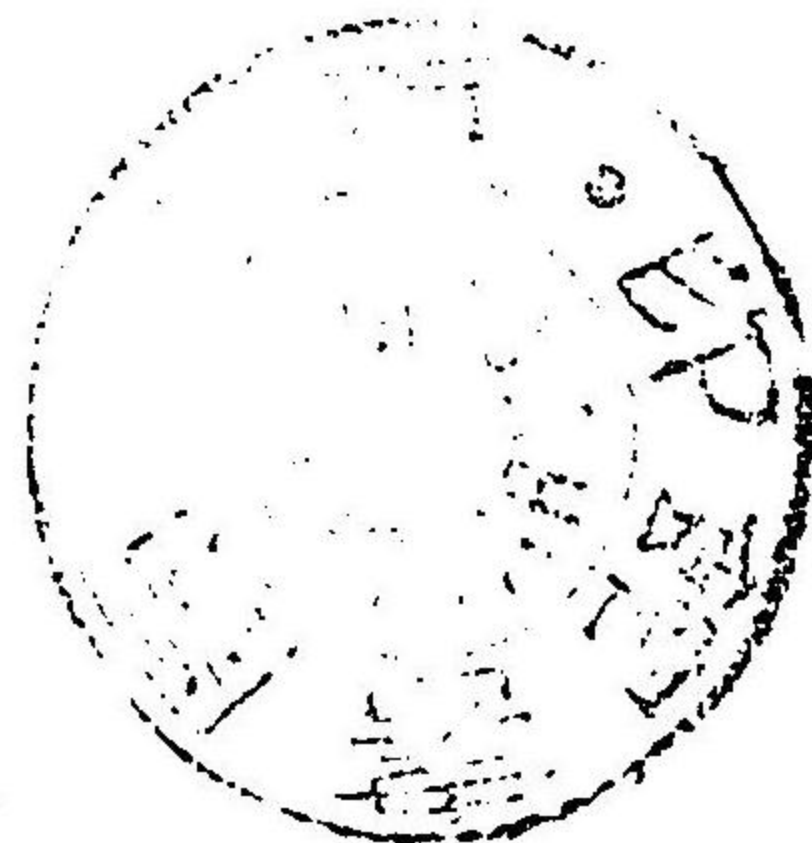


ト
3
143

赤穂義士傳



№ 9398



美濃大石主税長兼
のこんとたぬりやくの
ちりやいひつきの
いとえりせいのたけ
ふくさけさけんじ
くさくたたりい
いよてちいのる
つらてめいやくのれ
ふもさきさき
いとへんりしてめん
いろちこそまよく
かくはねん
のてつとつてき
ちりやいとつて
すけてうんとた
いしるてちんさい
うへんがたりて
ちりやうらそ
十六



美濃大石主税長兼
のこんとたぬりやくの
ちりやいひつきの
いとえりせいのたけ
ふくさけさけんじ
くさくたたりい
いよてちいのる
つらてめいやくのれ
ふもさきさき
いとへんりしてめん
いろちこそまよく
かくはねん
のてつとつてき
ちりやいとつて
すけてうんとた
いしるてちんさい
うへんがたりて
ちりやうらそ
十六



磯大石潮空兩信清
 かんらんだけのま
 てとらんだけのま
 んとつまらやえいせ
 んおくらたねえん
 がりていありあると
 またくどのえいせ
 きたりふとらん
 うねいふらんてらん
 かんあちちあらん
 ちやうまんてらん
 はんのませせらん
 まじりつぎのま
 こたをたつねふん
 いんちんこれんぞ
 くのもつちんとい
 かいふんまらん
 つませんまのらん
 るらんといふらん
 ちとまてそのま
 ちとまてそのま
 せせらんらん
 ちとまてそのま



留守後堀部平源兼
 せいいてんののこ
 いんまのののの
 のちやかんまの
 りらまののの
 てやまののの
 かくとつこの
 いやくとつこの
 ねどもそらん
 とわらまの
 とらまの
 りまの
 まの
 りの
 うちの
 のちの
 こまの
 ちの
 ちの



彼れは... (vertical Japanese text)



三言... (vertical Japanese text)



聖賢見義在王門
ついでにいせんりのや
りうべいのとさんま
りさきえさんとい
れつこのごきつ
れのとつとんとた
たりあさののい
ちで「とちりい
ち」つとた
ぐはいささ
ひんささ
わりてちりい
てらぶのよち
とちりてんち
とちりてんち
とちりてんち
とちりてんち



木下見義在王門
ついでにいせんりのや
りうべいのとさんま
りさきえさんとい
れつこのごきつ
れのとつとんとた
たりあさののい
ちで「とちりい
ち」つとた
ぐはいささ
ひんささ
わりてちりい
てらぶのよち
とちりてんち
とちりてんち
とちりてんち
とちりてんち



石見守 石見守 石見守
かまはなはてしなくいそいで
へびのうらみちりしにたて
くさのうらみちりのちり
かまはなはてしなくいそいで
へびのうらみちりしにたて
くさのうらみちりのちり
かまはなはてしなくいそいで
へびのうらみちりしにたて
くさのうらみちりのちり
かまはなはてしなくいそいで
へびのうらみちりしにたて
くさのうらみちりのちり
かまはなはてしなくいそいで
へびのうらみちりしにたて
くさのうらみちりのちり



聖徳太子 聖徳太子 聖徳太子
かまはなはてしなくいそいで
へびのうらみちりしにたて
くさのうらみちりのちり
かまはなはてしなくいそいで
へびのうらみちりしにたて
くさのうらみちりのちり
かまはなはてしなくいそいで
へびのうらみちりしにたて
くさのうらみちりのちり
かまはなはてしなくいそいで
へびのうらみちりしにたて
くさのうらみちりのちり
かまはなはてしなくいそいで
へびのうらみちりしにたて
くさのうらみちりのちり



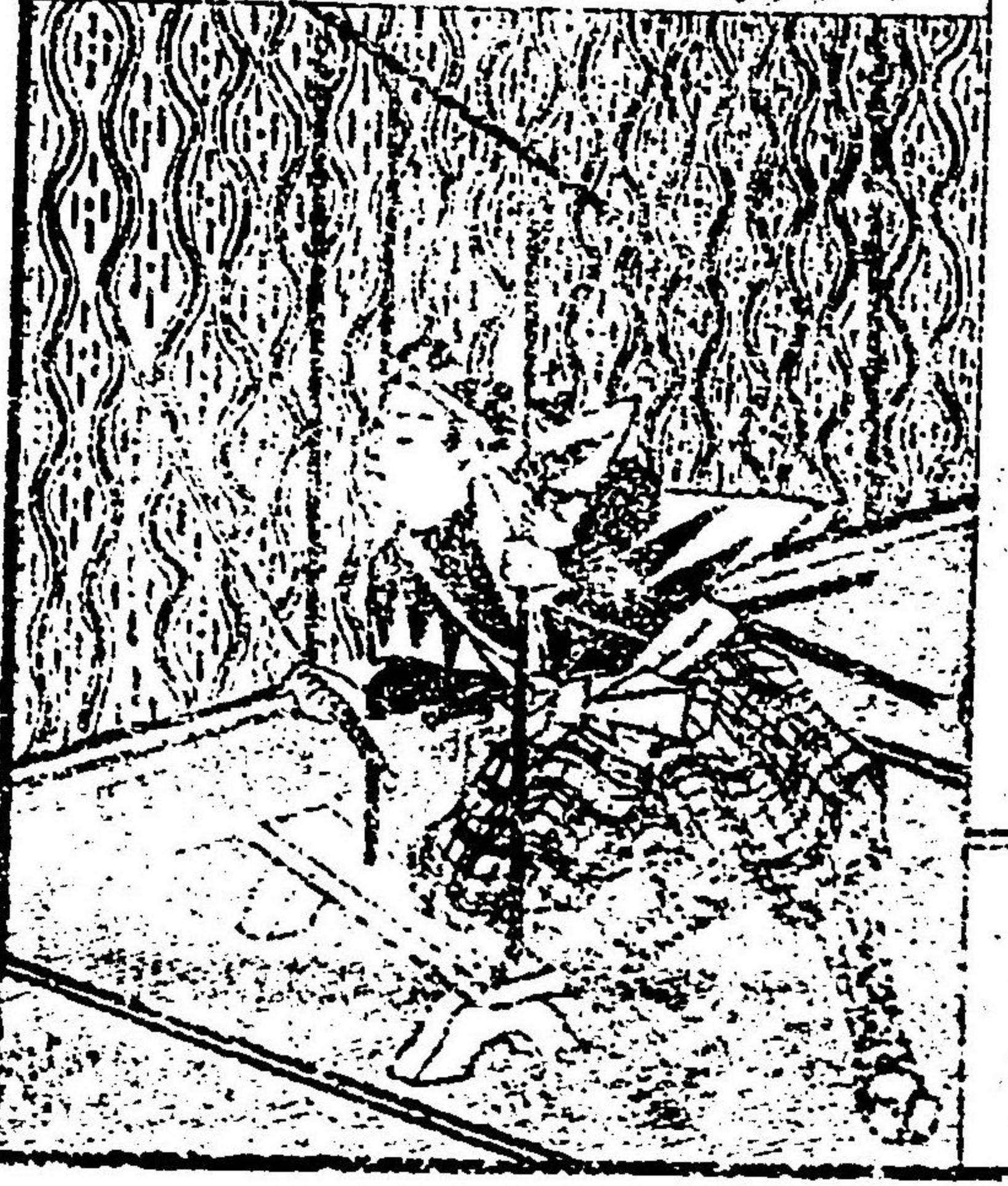
源五郎
源五郎は、源五郎の源五郎
源五郎は、源五郎の源五郎
源五郎は、源五郎の源五郎
源五郎は、源五郎の源五郎
源五郎は、源五郎の源五郎
源五郎は、源五郎の源五郎
源五郎は、源五郎の源五郎
源五郎は、源五郎の源五郎
源五郎は、源五郎の源五郎
源五郎は、源五郎の源五郎



源五郎
源五郎は、源五郎の源五郎
源五郎は、源五郎の源五郎
源五郎は、源五郎の源五郎
源五郎は、源五郎の源五郎
源五郎は、源五郎の源五郎
源五郎は、源五郎の源五郎
源五郎は、源五郎の源五郎
源五郎は、源五郎の源五郎
源五郎は、源五郎の源五郎
源五郎は、源五郎の源五郎



蘇我... 石門...
 けんと... の...
 まよ... の...
 まよ... の...
 まよ... の...
 まよ... の...
 まよ... の...
 まよ... の...
 まよ... の...



蘇我... 新... 風...
 と... の...
 と... の...
 と... の...
 と... の...
 と... の...
 と... の...
 と... の...



下馬番村松喜共二
 ちしんむめつちの
 こいつーちん太やいふ
 こりまこいせいせい
 めこらまたるの
 れるふしとたりい
 きでせんうのふま
 ちりたまえりーん
 していたつちあん
 日ふんふりあいに
 せんふくふま
 うせんとつまふ
 んはちとつまふ
 りまふりあいに
 しんていさつげ
 たりこらまたる
 たりこらまたる
 いさつげのちん
 こんまふんて
 けんもつんのも
 けんもつんのも



与地近松勘大源行重三
 あまのけしたのせ
 ていつとらあうら
 ーとてんのあうら
 ろらとてんのあうら
 あれがまつさきさつ
 んあいのちんあんの
 せんあいのちんあんの
 のんあいのちんあんの
 ちんあいのちんあんの
 うてあいのちんあんの
 子いたかいたか
 いんあいのちんあんの
 あとあいのちんあんの
 いんあいのちんあんの
 あくあいのちんあんの
 きのあいのちんあんの
 ーあいのちんあんの
 つあいのちんあんの
 うあいのちんあんの



三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百



中世
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百



是れは... 年十六...



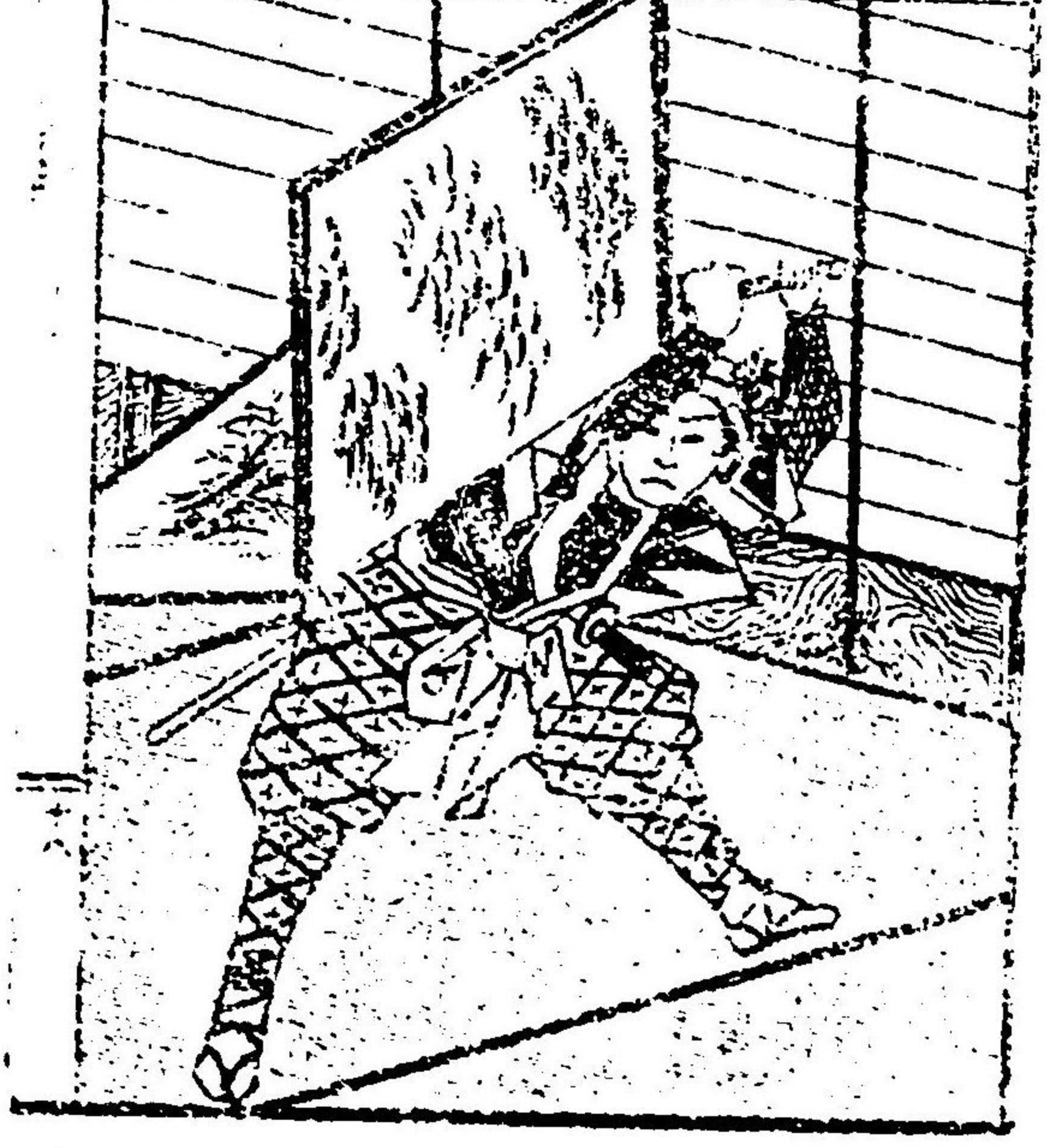
是れは... 年十六...



物語原物右五門元辰
 一人ありてあぐいなる
 人の一そんすてはき
 したたええもんが
 ついふそのせんい
 のをんをりしん
 ありてしん
 かのあまの
 てたあまのあぐさ
 くらあまのあぐさ
 いかにあまのあぐさ
 もとあまのあぐさ
 いかにあまのあぐさ
 あつてあまのあぐさ
 いかにあまのあぐさ
 ねまさんといま
 てまさんといま
 あちさんといま
 うんげ下！ 五十二



物語原物右五門元辰
 一人ありてあぐいなる
 人の一そんすてはき
 したたええもんが
 ついふそのせんい
 のをんをりしん
 ありてしん
 かのあまの
 てたあまのあぐさ
 くらあまのあぐさ
 いかにあまのあぐさ
 もとあまのあぐさ
 いかにあまのあぐさ
 あつてあまのあぐさ
 いかにあまのあぐさ
 ねまさんといま
 てまさんといま
 あちさんといま
 うんげ下！ 五十二



馬鹿な事をするな
 ちよとていへいせいたく
 りをうとめいせいたく
 このうとめいせいたく
 むよつうえふくうん
 をたてまつるたぐい
 たてまつるたぐい
 ことこのでとくちなり
 かふりふのあやまち
 うつまにあふてあ
 しくえひをまらうと
 ちよせんちよせん
 のまよへんあまてつ
 こにいよつうあ
 るあむをまて
 きてそのころん
 となんをそのま
 らつたといふま
 んめいなるのちよ
 ちよとていへいせいたく
 りをうとめいせいたく



ちよとていへいせいたく
 りをうとめいせいたく
 このうとめいせいたく
 むよつうえふくうん
 をたてまつるたぐい
 たてまつるたぐい
 ことこのでとくちなり
 かふりふのあやまち
 うつまにあふてあ
 しくえひをまらうと
 ちよせんちよせん
 のまよへんあまてつ
 こにいよつうあ
 るあむをまて
 きてそのころん
 となんをそのま
 らつたといふま
 んめいなるのちよ
 ちよとていへいせいたく
 りをうとめいせいたく

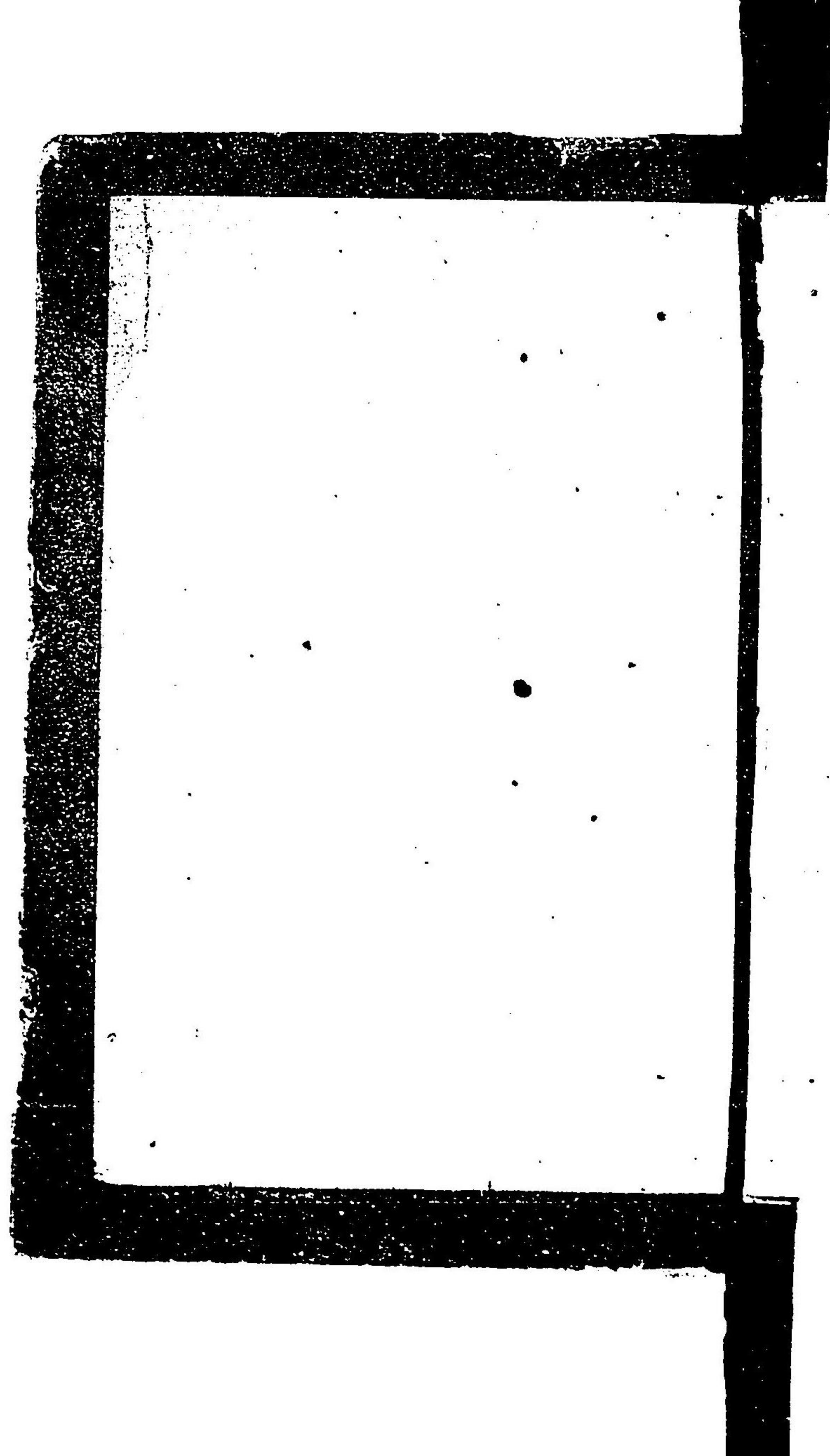


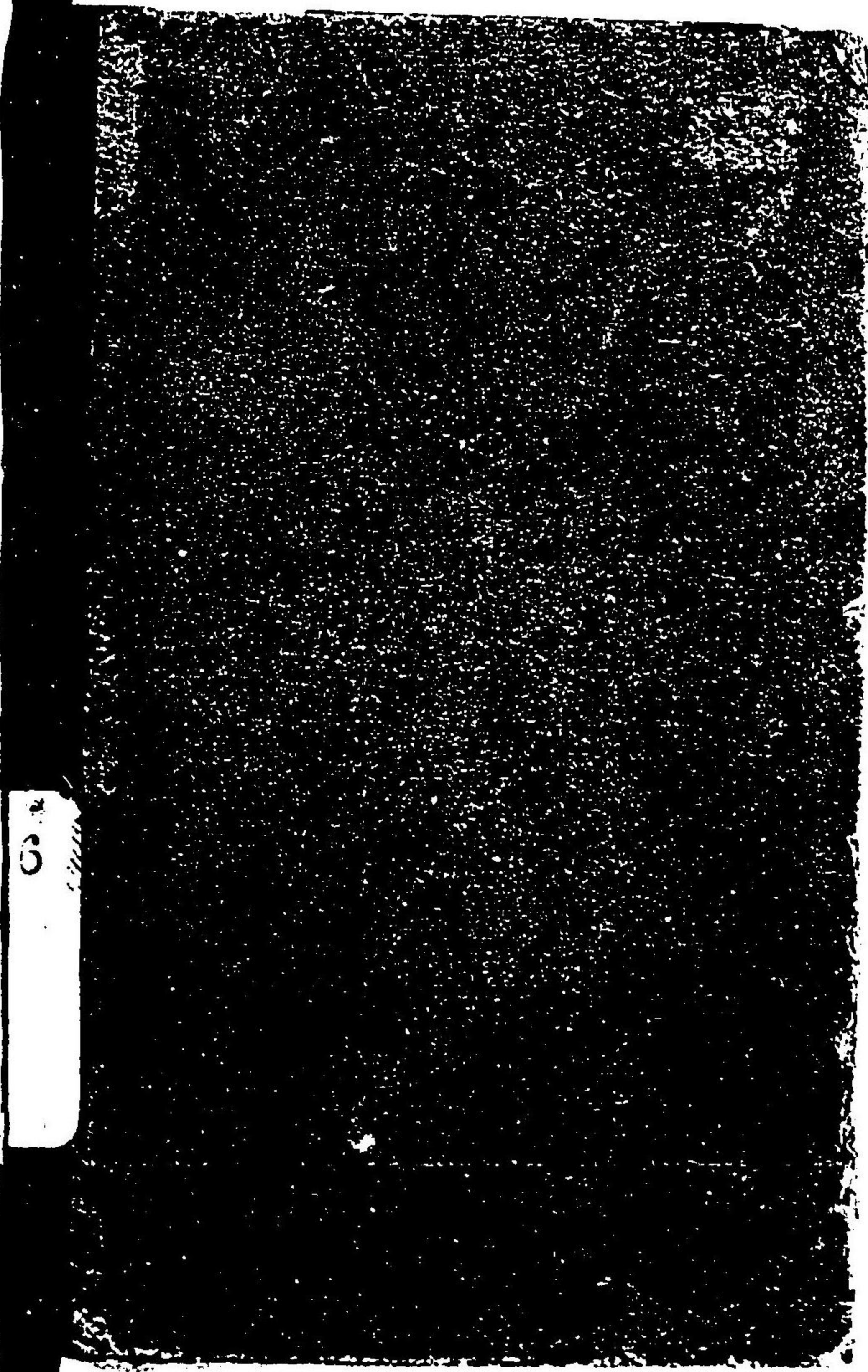
明治二十一年三月廿日 印刷
同 年 同月某日出版

編者 定價拾錢
發行者兼 鈴木萬吉

印刷者 淺草區堅天枝町二十一番地

賣捌東京書林繪双紙店





6

091905-000-5

特66-774

赤穂義士銘々伝

鈴木 万吉 / 刊

M21

DBP-0002

